

Pick up! ②

過疎地域の認定

↓ 過疎地域に指定されている福智町。指定地域だけが借り入れできる有利な「過疎債」を活用し、地方創生の好循環を生む新アリーナを建設中。



過 疎地域自立促進特別措置法では、過疎地域の認定について、国勢調査の結果による「市町村の35年間の人口減少率」を用いるよう規定されています。国は法令の適用を受ける過疎地域に対し、各種施設の整備や医療、交通・通信の確保対策など、行政上・財政上で過疎地域に生活する人々が困らないよう、特別な措置を講じる必要があります。

Pick up! ①

衆議院小選挙区の決定

衆 議院小選挙区の各選挙区の人口が均等になるよう、国勢調査の結果による「人口」をもとに改定されます。地域ごと

の人口が正確にわからないと、国会議員の定数を各地域に割り当てられず、全国各地の国民の意向を均等に国政に反映させることができなくなります。私たちの意志を国政に届けるためには、国勢調査への協力が欠かせません。



企画

始まります！

国勢調査

National Census

2025



国や地域が進むべき道筋を立てるため、国の情勢を調べる「国勢調査」が今年10月から5年ぶりに実施されます。調査を前に、国勢調査の概要や実施方法をご紹介します。

結果は何に使われるの？

国勢調査の利活用

「日本で最も重要な統計」と呼ばれる国勢調査。それでは一体、調査の結果はどのように私たちの生活へ生かされているのでしょうか。

Pick up! ④

生活環境の整備

学 校の立地、河川の浄化、清掃、まち並みの整備、道路や広場の緑化など、各自治体による住みよいまちづくりへの取り組みにも国勢調査の結果が活用されています。行政による利用以外にも、企業や団体におけるコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの小売店舗の立地計画や、製品・サービスの開発・需要予測などにも役立てられています。

Pick up! ③

少子高齢化対策



安 心して子どもを産み・育てる環境の整備や、高齢者福祉、児童福祉、母子・父子福祉など、各種施策を立案するための基礎資料に活用されている国勢調査。この結果から得られる「ひとり暮らしの高齢者数」や「高齢者のいる世帯数」、「母子・父子世帯数」などの地域別統計は、少子高齢化対策の施策立案に欠かせない重要な基礎資料となります。

次のページでは…

9月から実施される
調査の流れ をご紹介！



現在の国の情勢を知り 未来を創る「国勢調査」

「いま、日本がどんな状況で、今後、どのようなようになっていきそうなのか」という国の情勢を5年に一度調査する国勢調査。この調査は、生まれたばかりの赤ちゃんや外国人を含む、10月1日時点で日本に住むすべての人を対象に実施されます。

日本では、この調査のほかにも「住宅・土地統計調査」や「就業構造基本調査」など、多くの調査が行われていますが、その中でも国勢調査は「最も重要かつ基本的な統計調査」に位置づけられており、大正9年から現在に至るまで、西暦が5の倍数の年に調査が実施されています。

日本で暮らしている全員の情報をまとめて正確な統計を取り、国や地域が進む道筋を立てるために実施される「国勢調査」。日本のありのままの実態を把握することで、国の傾向や課題、その対策を考えることなどに役立てられます。そのため、一人ひとりの協力と正しい回答が求められています。

百年以上も前から「いま」を知る、その積み重ねで現在の日本が築かれてきました。より豊かな国・社会を創っていくためにも、国勢調査は欠かすことができない基本的な調査です。私たちの答えが、未来を創る——。そう信じて、今年実施される国勢調査にご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

企画振興課 地域振興係 小林 麻鈴さん
〔令和7年度 国勢調査担当〕

